



高校生を中心にした大会オリジナルスイーツ

すみ色 クールに甘く

書道パフォーマンス甲子園 オリジナルアイス

高校生発案 大会PRに

4日に四国中央市で開催される第12回全国高校書道パフォーマンス選手権大会(書道パフォーマンス甲子園)に合わせ、実行委員会は高校生企画員を中心に大会オリジナルスイーツを作った。書道をイメージする炭を使った黒いアイスで、流行のタピオカドリンクにもトッピング。インスタ映えを狙い、大会のPR効果も狙う。

高校生企画員は、実の専門商社、南商事(松山市)に協力を依頼。の川之江、三島、土居の3校の53人で構成。このうち観客歓迎班15人が商品企画を担当した。「書道らしさ」「暑い時季にふさわしい」「提供しやすい」との理由で炭のアイスにしようとした。商品化に向け、実行委員事務局を通じて氷菓

(シングル300円)。若者に人気のタピオカドリンクにアイスを入れた「漆黒のタピオカミルクティー」(500円)も作った。

今大会に出場する20校の過去の作品をシールにしてラベルに貼るなどの工夫も。企画員の金沢侑也さん(18)は「土居高3年」は「書道の大会として印象の残るものを作りたい。みんなに喜んで食べてもらえたら」と胸を張った。

商品は大会当日のみ、会場の伊予三島運動公園体育館(四国中央市中之庄町)で販売する。

(雲出浩二)